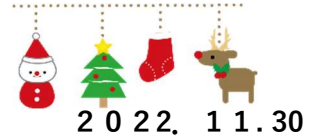




ねむのき 12月号



2022. 11.30

学校から見える岩部八幡の大銀杏の葉もほとんど散り、塩江の山々も冬の色になっています。さて、11月11日の人権学習参観及び令和5年度学級編制説明会へのご参加ありがとうございました。早いもので、本年度も終盤にさしかかりました。今年の成果を踏まえ、来年も個々がもつ力が十分発揮できるよう取り組んでいきたいと思っていますので、ご理解とご協力をお願いいたします。(須田)

塩江小学校の子どもの数は、減っています。今後も、減っていくことが予想されます。

子どもの数が減っても、よりよい学校生活を子どもたちが送れるようにしたいと考えています。さらに**バージョンアップした塩江の教育活動を展開できるようにします**。そのために、「学年に応じた学び」と「学年を超えた複数学年や全校生での学び」を来年度から充実させていきます。くわしくは、来年度の4月にお知らせします。



【1年生と2年生いっしょに
がんばった水泳】



【お互いの説明で理解を
深める算数…5年生】



【男木小交流学習…
3・4・5年生】

きちんと聞いたり、準備を忘れずしたりなどの学習の基盤となる力を付けることをめざしての指導も大切にしています。それでも、先生の話聞き逃したとき「今の先生の話って？」と隣の子に小さな声できいたり、「先生、もう一回話してもらえますか」と言ったりすることができる子になってほしいです。忘れ物をしたとき、「先生！〇〇を忘れました。どうしたらいいですか」と訴えられるようになってほしいです。できることをめざしてはいるけれど、できないことはあって当たり前。「迷惑をかけない」ことではなく、「困ったときに『助けて』と言える」ことを大切にしています。

私たちは、「お互い様」の気持ちで助け合って生活をしています。だれでも得意なことと苦手なことがあります。得意なことを生かすことでみんなのためになり、苦手なことは助けてもらっています。塩江小学校では、助けてもらうことを「迷惑なこと」とは、考えません。困ったときに、「困った！助けて！」と言えるようになってほしいと思っています。そのように主張できることを、おずかしい言い方で「合理的配慮を求められるようになる」といいます。
…くわしい続きは、次号で！



【須田のひとりごと】ある学級で、ひとつのがんばりを1個のビー玉にして、ガラスびんにためています。私も担任のときにしていました。子どもたちのがんばりが変身したビー玉。それが、ガラスびんに転がり入る音に耳をすます子どもたちのきらきらした瞳が、私にとってのごほうびでした。ほめられることやごほうびをもらうことは、うれしいことです。今、私は、自分にごほうびを用意して、日々を「凡事徹底！」と、がんばります。「〇〇を終わらせたら、このチョコレート食べよう！」「今日1日ががんばったら、晩ごはんは鍋焼きうどんや！」「1週間、がんばったら、〇〇のシュークリーム買いに行こう！」食べることばかりですね…書いていて気付きました…